

2013—12

〒418-0066 富士宮市大宮町15-1

富士宮歩こう会

TEL&FAX 0544-22-7373

http://arukoukai.jp

# 天浜線・姫街道ウォーク（第二ステージ）

- ★実施日： 12月8日（日）
  - ★申込期限： 12月3日（火）
  - ★集合時間： 6：30
  - ★集合場所： 富士宮駅南口
  - ★参加費： 4,500円
  - ★難 度： II
  - ★歩行距離： 12km
  - ★帰着予定： 17：20頃
- ※杖の持参をお薦めします。

### 行程

#### 往路（バス）

富士宮駅南口 ⇒ 新富士IC ⇒ 遠州森町PA ⇒ 三ヶ日IC ⇒ 三ヶ日駅

#### （ウォーク）

三ヶ日駅・・・JAみっかび・・・引佐峠・・・西気賀駅 ⇒ バス移動 ⇒ 気賀関所（昼食）

⇒ 西気賀駅・・・アマノ細江事業所・・・歴史民族資料館（資料館見学）

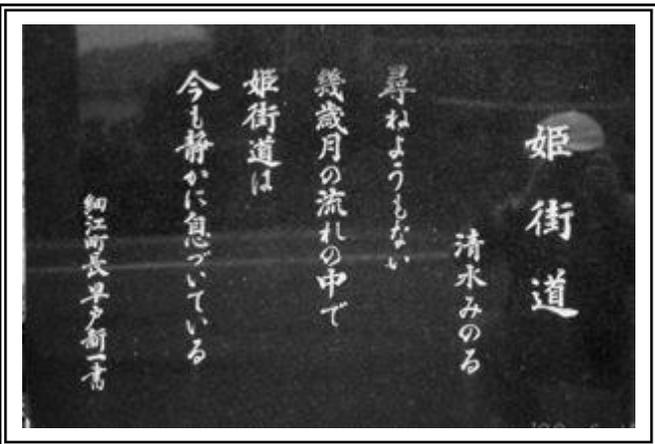
※気賀関所は見学もできます。昼食事に役員が案内します。

#### 復路（バス）

資料館 ⇒ 浜松SAスマートIC ⇒ 静岡SA ⇒ 新富士IC ⇒ 富士宮駅南口

## コース紹介 <第2ステージは天浜線を離れ「お姫様」が旅をされたと言われている「姫街道」を中心に歩きます>

スタートの三ヶ日駅より商店街を抜けしばらく歩くと「姫街道」に入ります。往時の雰囲気を楽しみながら歩くと最初の休憩場所「JAみっかび特産センター」です。ここでは三ヶ日みかんを味わってください。その後、杖が必要な坂道で姫街道最大の難所「象鳴き坂」に向かいます。泣かないで坂を登りきると三ヶ日町と細江町の境、引佐峠です。後はお姫様が休んだという「姫岩」を見ながらの下り坂です。昼食の「気賀関所」まではバス移動となり、ここでは関所の見学もできます。午後はバス移動でウォークに戻ります。再び坂道になりますが「姫街道」で最も景色の良いところとして有名な「小引佐」に掛かります。ゴールは「歴史民族資料館」で館内の見学もできます。



### 姫街道の由来

東海道見附宿（磐田市）と御油宿（豊川市）を結ぶ東海道の脇街道で、姫街道と呼ばれるようになったのは幕末からです。その由来は、女性が多く利用したためとも、古いという意味の「ひね」の街道から変化したとも言われる。一般的には新居関所の執拗な取り調べを嫌った女性たちが、浜名湖の北側の陸路を通ったと言われています。諸説あり文献として残っている訳ではありません。しかし「姫様」の通行があったことは間違いなく、徳川吉宗の時代には、象が通行したという記録も残っています。

西気賀を通り「小引佐」付近で見られます

